

(様式3)

事業所名 グループホーム古里

ユニット名 たろう(A)・えぼし(B)

作成日 令和 4年 7月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	新型コロナウイルス感染症の流行により開設時に描いていたような月1回の外出活動が出来ておらず、各季節に1回程度の頻度に制限せざるを得ない状況である。利用者様の中には外出出来ないストレスを感じている方もおり外出制限により認知症症状の悪化の可能性もある。	可能な限り密を避けて季節の外出は続け、近いご家族へ協力を求め外出出来る機会を作ったり、屋外への散歩やホームの屋外活動なども行い脳の活性化を図る。	季節の外出レク・・・花見、バラ園見学、紅葉狩り、ドライブ。 日々の屋外活動・・・中庭の園芸(花、作物) 屋外喫茶、散歩、水くれ、草取り	12ヶ月
2	8	馴染みの人との外出や面会(窓越し、タブレット)希望は決まったご家族になっており、面会のないご家族への働きかけは特に行っていないが入所されている殆どの入所者様の本音は「家に帰りたい、家族に会いたい」と感じている。	ご家族にご本人の意向や日々の様子を伝えつつご家族に出来る支援の協力を得ながら馴染みの場所や人に会う事で関係性が途切れず、地域の一員としての必要性を感じ意欲的に生活出来る様支援する。	ご家族来所持、電話連絡時、ケアプランの見直し時期、月1回のお手紙、などを通じ家族との関わりを多く持ち、計画作成や管理者、スタッフは誰でも利用者様の様子がわかり、家族へ様子を伝える事が出来るよう、申し送りや日誌を通じ家族へ説明出来る体制を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月